久山中便り

久山中学校
令和８年１０月３０日発行
第５８号

日常の学習成果を発揮
研究発表会

29日（木）は、久山中学校の研究発表会でした。200名を超える来校者（ほとんどが先生たち）に、久山中学校の皆さんの学習のようすを披露しました。

まずは、**公開授業**。

各教科等の授業では、教室に来校者がたくさん入っていらっしゃいました。しかしそこは、鍛えた集中力があります。教科担任の先生の出した課題に真剣に取り組んだり、話し合いを通して自分の意見を表出したりする様子を見ることができました。

今回、久山中が取り組んだ実践は、**生成AIのよさを学習活動に取り入れる**ことです。



三年生理科では、物体が斜面を下る運動のシミュレーションソフトを先生が生成AIで作成し、生徒達に検証させる場面がありました。物体が終点に最も早く到着するコースを自分で描き、グループで練り上げる様子がありました。



また、三年生数学では、関数の問題を解決するためのアドバイスをしてくれるソフトを先生が生成AIに作らせ、それを生徒達が活用しながら問題を解いていく場面を公開しました。

いずれも、理解を深めたり、解決を促したりする上で、生徒達が上手に活用していました。参観者の感想です。

・三年生がとても活発な交流をしていて良い雰囲気だなと感じました。また、数学の問題が「車のブレーキ跡」を用いて速度を求めるという興味がそそられる問題であったのも良いなと感じました。落ち着いて学習している姿もさすが三年生だなと感じました。

・生徒達が課題の解決に向けて話し合ったり考えたりしている姿が印象的でした。

さらに、**パネルディスカッション**。

多くの来校者を前に、**生徒代表として２名の三年生に登壇**してもらいました。三年生に登壇してもらったねらいは、**「授業を受ける側は、日々の授業をどう感じているのか」**です。先生の授業に物申すことはなかなか難しいところですが、受ける側としての思い（課題の難易度や解決時間の程度など）について意見を述べてくれました。

参観者からの感想です。

・中学生のしっかりした発言に頭が下がりました。

・授業に対する生徒さんの直接の意見というのがすごく新鮮で、わかりやすかったです。

・生徒さんの生の声がとてもよかった。とても貴重な意見だった。

・生徒さんがストレートに意見を言ってくれました。それによって、教師の課題が直接伺えるのが刺激になるのでとても良いなと思いました。根拠があり、自信を持って話されているところがとても良かったです。



生徒の皆さんが、日常の学習成果を発揮した発表会。来校者にとっても、本校の先生方にとっても、充実した一日となりました。